

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



コロナ感染拡大などの懸念から、開催に対しては賛否両論ありましたが、東京オリンピックが始まりましたね。

いざ開催されると、やはり日本

選手の活躍が気になります。どの会場も無観客というのが何とも寂しい限りですが、現況では仕方のない選択かも知れません。



選手の皆さんの今までの努力が報われるよう、画面を通じて精いっぱいの声援を送りましょう。



頑張れ日本！！

応援する側も熱中症に気を付けて、元気にお過ごしください。

住宅ローンを組んでも、実際の融資は建物の引き渡し時となります。

着工時や中間時にはローンが下りていないということになる為、住宅ローンとはまた別のローンを組み、融資が下りるまでの間の「つなぎ融資」を受ける方がほとんどです。



つなぎ融資にも当然、金利や手数料がかかってきます。諸費用を予め項目別に整理し、支払時期と金額をきちんと把握し、住宅ローンの融資開始と引き渡し日をすり合わせるなど調整しておきましょう。

次回に続く

家を建てる段取り（11）

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【いつ、どれくらいのお金を払うか】

家を現在の場所で建て替えるのではなく、別の場所に新築する場合には、先ず土地を購入してからそこに家を建てる、という順番が普通です。

土地の代金は、土地の引き渡し時に支払うのが一般的なので、そこに合わせてローンを組む必要があります。



建物の代金は、契約した住宅会社によってタイミングが異なりますので十分に確認をしましょう。

代金を分割して支払う場合、建築請負契約時に手付け金、着工時に着工金、中間金、そして完成引き渡し時と四回に分けて支払うというパターンの会社が増えています。

この他に印紙代などの費用もあり、それぞれに万単位のお金が必要なので、予め住宅会社に確認しておきましょう。

「ウッドショック」

今、世界の木材市場が大きく変化しています。前例のない規模での木材の価格急騰や材料の欠品などが各国で起きており、日本でも戸建て住宅市場を中心に大きな影響が及んでいます。

そこで、さまざまな要因や経緯を考えてみました。

- ・アメリカにおける、テレワークの普及と歴史的な低金利による住宅着工の増加
- ・中国の旺盛な木材需要
- ・ロックダウンによる世界的なコンテナ不足
- ・欧州エリアの木材消費の回復
- ・日本の「品質のこだわり」と「高値での買付け力」
- ・国産材の生産体制が整っていない現状

これらのうち、コンテナ不足については当初の予想より早期に回復傾向にあり、アメリカの新築住宅着工も減少の傾向ではあるようです。しかし、中国は引き続き建設需要も旺盛に推移するものとの見方が強いようです。

当面は沈静化する見通しは立ちづらく、木材の供給不足は、秋口～年内までは続くことが予想されます。



やさしい兄弟に会えて



最近、友人から聞いたちょっといい話を紹介します。
友人のお母さんと息子（お母さんにとっては孫）さんに
まつわる出来事です。

私の母と1歳8ヶ月になる息子は、とっても仲
良しです。

先日も、一緒に実家近くの児童公園に遊びに行
きました。

息子はブランコ遊びが大好きなので、その日も
早速ブランコを目指して走っていき
ましたが、そこには先客が・・・



二つあるブランコに、小学校4年生くらいのお
兄ちゃんと1年生くらいの弟くんがそれぞれ立
って勢いよく漕いでいたそうです。

が、息子がブランコを目指して走ってくるのを
見かけると、お兄ちゃんはブランコを漕ぐのを
やめて、息子に「はい、どうぞ」と譲ってくれ
たそうです。

息子は嬉しそうにブランコに乗り、漕ぎ始めま
した。母は、ブランコを揺らしてあげようと、
後ろに回って背中を押そうとしました。しかし
息子は自分で漕ぎたかったようで、母を振り返
り「やめて」という視線を送ってきたので、母
は押すのをやめて、見守ることにしたそうです。

すると、その様子を近くで見ていた弟くんが、
ゆっくりと、まるで手本を示すように漕いで見
せたそうです。息子は、それが判ったのか一生
懸命に真似をして、しばらくすると上手に遊べ
るようになったのが嬉しくて、意気揚々とした
様子だったそうです。

ところが、息子が勢いよくブランコを降りた途
端に勢い余って転び、膝小僧をすりむいてしま
いました。

それを見たお兄ちゃんは、猛スピードで走り去
ったかと思うと、手にバンドエイドを持って戻
ってきました。そして、息子の膝にやさしく貼
ってくれたそうです。

息子は未だ上手くしゃべれませんが、嬉しそう
に何度も何度もお辞儀のしぐさをして「ありが
とう」の気持ちを表していたそうです。

そして、別れる時に、二人は息子に向かって、
「また一緒にブランコで遊ぼうね」
と、やさしく声を掛け、姿が見え
なくなるまでずっと手を振り続け
てくれたそうです。



家に帰りつくとすぐに、母は児童公園でのこと
を息子の頭をなでながら私に話しました。

「あんなにやさしい兄弟に会えて、とても感動
したよ。あの兄弟のことを、この子もきっと覚
えているだろうね」と。

この話を聞いた私も嬉しくて、心がフワッと温
かくなりました。

きっと素敵なお家族なんだろうな。

息子さんも、この兄弟のように誰にでもやさしく
接することが出来る人に成長することでしょうね。

「編集後記」

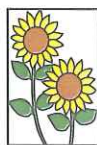
8月。従来なら、そろそろ夏休みの計画を立てる頃ですが、
コロナ感染予防対策のひとつとして「おうち時間」が定着
した昨今、いつもとは違う過ごし方を探っている方もいら
っしゃるのではないのでしょうか。

あれもダメ、これも・・・と考えず、こんな時だからこそ
という楽しみが見つかるかもしれませんね。

1日も早く元の日常が戻ってくるのを待ちながら、今から
心身を整えておきましょう。

暑さ厳しい折、健やかな日々をお過ごしください！

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子